



Pierre Bruno

# Fantasma, désir et loi

幻想、欲望、および法

ピエール・ブリュノ氏

(ジャック・ラカン精神分析協会会員、  
元パリ第8大学教授)

講演会

2013年10月25日 (金)  
18:00~20:00

東京大学  
駒場キャンパス18号館4階  
コラボレーションルーム2

言語 | フランス語 (通訳あり)  
司会 | 原和之 (東京大学)  
通訳 | 立木康介 (京都大学) /  
福田大輔 (青山学院大学)  
主催 | 「グローバル化時代における  
現代思想——概念マップの再構築  
(CPAG)」 (基盤研究A・研究  
課題番号24242002)

ピエール・ブリュノ (Pierre Bruno)  
1939年生まれ。トゥールーズ第2大学講師・准教授を経て、1989年から1999年までパリ第8大学で教鞭をとる。1984年国家博士号 (心理学) 取得。平行して1981年から1999年まで Ecole de la Cause Freudienne において、会員分析家として種々の職責を担う。2001年にジャック・ラカン精神分析協会を創設。『Barca!』誌や『Psychanalyse』誌の編集長をつとめたほか、主な著作として、La passe (2003) Lacan, passeur de Marx(2010) Manifeste de la psychanalyse (共著、2010) Une psychanalyse, du rébus au rebut (2013)、および各国の雑誌に数多くの論文を発表している。